人、ひとりひとりの心地良さ

社会福祉法人青森社会福祉振興団・特別養護老人ホームみちのく荘

まるめろ通信

［まるめろ通信／第 141 号］
発　行／(福) 青森社会福祉振興団
特養みちのく荘　☎0175(23)1600
特養金谷みちのく荘　☎0175(23)0781
みちのくクリニック　☎0175(23)1171
●取得認証●
・ＩＳＯ 9001
・青森県認証介護サービス事業所

２０２２年に、仙台市太白区に「(仮称)特別養護老人ホーム西多賀みちのく荘」を開設します。

青森県むつ市における45年の集大成として、「未来型施設」をコンセプトに、介護と医療、教育と文化が融合した全世代が利用でき、感染症や自然災害等あらゆるリスクに備えた、現在考えられる日本最先端のオール木造の施設です。

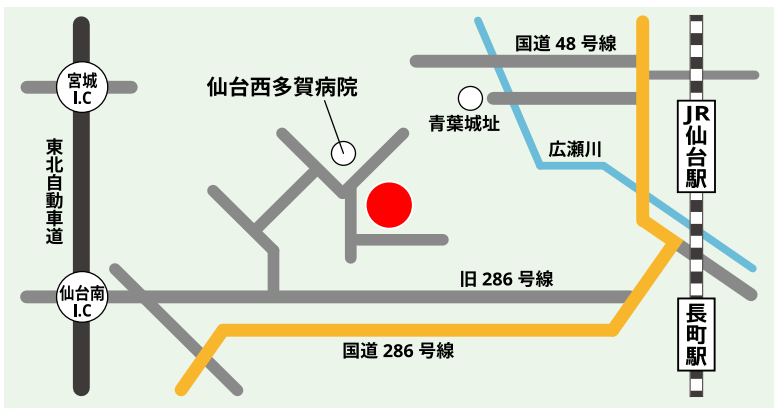
昨今の新型コロナウイルスへの対応から得た感染防止対策として、非接触自動ドアや自動手洗い・うがい器、換気機能付エアコンなどを館内各所に導入する予定です。

また、介護ロボットの導入やＩＣＴ・ＩｏＴを駆使し、質の高いケアを行いながら、職員の業務負担軽減に繋げ、働きやすい職場を目指します。

そして、万一の災害時にも、自家発電や食料等の備蓄により、運営の継続が可能です。

その他、地域交流ホールや図書館、美術ギャラリー、喫茶スペースを併設し、利用者と地域住民が気兼ねなく利用できる地域交流の場としての役割を担っています。

在宅サービス事業や隣接の国立病院機構仙台西多賀病院と連携し、地域に根差した事業を行い、私たちが提供する安心と安全により「誰もが集まり、幸せになれる施設」となるよう、努めていきたいと考えています。



● 開設予定地（仙台駅から車で約２０分）

東日本大震災から10年
～学んだこと、そしてその後の取組～

テレビに映る巨大な津波や福島第一原発事故の模様。誰もがあの日の大惨事を覚えているだろう。２０１１年3月11日(金)14時46分に発生した最大震度７の東日本大震災。

あれから10年が経ちました。あの日、みちのく荘のあるここむつ市では、震度４の揺れを観測。大きな揺れとともに電気は消え、水が止まった。ありとあらゆるものが使用不能となり、施設内は静けさに包まれました。

ラジオから流れる情報から、早期復旧の目処がたたない状況。早急に照明や暖房、飲み水、食料等の確保に奔走しました。当時、施設内には十分な備蓄品も備えられていなかったことから、市内店舗を駆け回り、給油制限されたガソリンスタンドにも並びました。利用者及び職員等の安全確保のため、あらゆる手段を用いて、何とかこの危機を乗り越えたことを今でも覚えています。

往復して確保した居室トイレ用水

この震災を体験し、自然災害発生時に何が必要なのか改めて考えるきっかけになりました。そして、その対策として以下のような各種備蓄品や食料、電気の確保等、ひとつひとつ確実に進めてきました。

ホールに集められた備蓄品

●入居系利用者の飲料水含む非常食・ディスポ容器の備蓄（3日分）
●城ヶ沢フードセンターでの食料備蓄・食材の確保
●軽油用タンクの設置
※リフト車等の燃料を確保
●緊急一斉メールシステムの導入
※メールで職員の安否確認等可能
●各種災害用及び感染症備品の備蓄
・可動式発電機、電池、電気ストーブ、ディスポグローブ、カセットコンロ等
・太陽光で充電可能な蓄電池ライトの購入と、法人職員への配布
●災害対策本部設営訓練の実施
●災害想定訓練の実施
●地震発生時の職員招集範囲等マニュアルの作成
●リスクマネジメント研修の実施
●むつ市と災害時における福祉避難所の設置運営に関する協定締結

ＵＳＢ充電も可能な軽量・防水仕様の太陽光充電式ライト

更に、県内における原発事故も視野に入れ、社会福祉施設等放射線防護対策事業関連の補助金等を活用し、以下の対策を講じてきました。

●特別養護老人ホームみちのく荘に大型発電機等を設置し、照明やエアコン等の非常用電源を確保。また、常にきれいな空気を確保すべき換気システム等を導入
●災害備品・食料を追加ストック
●機器取扱講習・訓練の実施
●避難場所の確保（みちのく城ヶ沢フードセンター隣接の旧城ヶ沢みちのく荘）

今後、青森県沖においてマグニチュード８級の巨大地震が発生するリスクがあります。今回の教訓を活かし、被害を最小限に抑えながら事業の早期復旧・継続できるよう、日々取り組んでいきたいと思います。　記／澤畑　教光（法人本部）

身体障がい者の「ひとり旅」（上）

記／山田　茂（72）
（ケアハウスみちのくグリーンリブ入居者）

右目が見えず、左足が不自由となり身体障害（第一種三級）・要介護認定（要介護2）に認定された私。

歩行器がなければ、前に進めない私が、二〇二〇年夏、大湊から弘前市、黒石市へと電車でひとり旅に出ました。「なぜそんな無理を？」と言われますが、私の心の中には譲れない理由があったのです。

一つ目は、両親の墓参り（黒石市）です。二つ目は、今の自分の体力の限界を知りたいという事です。

関東方面で長く働いて、六十歳過ぎに脳梗塞で倒れ、六年にも及ぶ闘病生活で、父母の墓参りも出来なかった事が、自分の心の中にずっとひっかかっていました。

弘前市内の病院施設に移ってからも、車椅子の為、一人で墓参りできなかった。去年のお盆もコロナ禍で人込みはダメ。そんな中、8月末日に津軽に嫁いでいる妹から連絡があり、自分で動けるうちに行く事に決めました。

猛暑に　踏み出す一歩　怖さあり
心の弱さか　老身のせいか

「大丈夫か？大丈夫か？」不安!!

8月27日の朝、いよいよ出発です。ひとり旅。天気はスカッとし、暑い。猛暑注意報。水筒に冷たい麦茶を入れ、着替えをリュックに詰め、靴を履いて、車で迎えに来てくれたむつ市在住の娘に大湊駅まで送ってもらった。

心配顔の娘を無視し、歩行器を押して駅舎に入った。大湊から弘前までの切符を買うため、障害手帳を出したら、駅員から「一人で行くの？」と聞かれました。「ハイ」と返事はしたけれど、心の中は『不安』。だいぶ待って電車「快速しもきた」がホームに入ってきた。ホームと電車の間が思った以上に広く、段差が高い。「乗れるかな？」「大丈夫かな？」駅員の手伝いで何とか乗れた。座れた。

11時48分、出発進行。一路青森へ。

車窓に　揺れる草木に
我重ね　向かう先は　父母の墓

電車が走り出してから、気付いたのは「トイレはどうする」でした。大湊から青森まで二時間以上かかるし、暑いから冷たい水やお茶をたくさん飲んでいる。加齢でトイレも近い。「ヤバいぞ」。でも大丈夫でした。快速しもきたは電車の中にトイレがありました。席はトイレの近くが良かったのですが…。

13時46分、青森駅に着く。でも大変だ。青森駅は工事中でトイレも、エレベーターも使えない。弘前へ行くための、乗り換えができない。歩行器を持っての、階段の昇り降りは想像以上に大変です。

一度は嫌になって「諦めよう」と思った時です。通りがかった大学生くらいの女性二人が、助けてくれました。一人は歩行器を運び、もう一人は乗り換え予定の電車の駅員に「障がい者が乗るから」と告げてくれて、私は無事に弘前行の電車に乗ることができました。お礼を言って頭を下げている間に、二人は、どこかに行ってしまいました。

若人の　なにげない助け　ありがたく　心にしみて　思わず涙

障がい者の老人一人旅はいろいろと迷惑をかけますね。「ごめんなさい」。

14時52分、弘前駅に無事到着。弘前駅はエレベーターがあるので、あまり心配なく。今日は弘前に泊まる。夜は弘前地区のケアスタッフと、打ち合わせを兼ねて会食。刺身がめちゃ美味しかった。海がない弘前で、大間のマグロを食べたよ。「美味しい」。

「てっぺんの終着駅」大湊駅

堤川より八甲田（1976年）／関野準一郎

関野準一郎記念
まるめろ美術館ご案内

臨時休館のお知らせ

国内外での新型コロナウィルス感染症の拡大防止のため、安全を考慮し当面の間、臨時休館とさせていただきます。再開日につきましては、今後の感染状況等の情報を見極めたうえで検討し、当館ホームページにてご案内いたします。

2022年度新卒採用募集開始のお知らせ

青森社会福祉振興団では、2022年度新卒採用の募集を開始します。

募集職種の求人内容は、当法人ウェブサイト（採用情報）を参照ください。

■募集職種
●介護職／専門学校・短期大学・大学
●看護師／専門学校・短期大学・大学
●理学療法士・作業療法士・言語聴覚士／専門学校・短期大学・大学
●調理員／専門学校・短期大学
●総合職（事務系）／大学

■雇用形態
正職員（試採用期間3ヵ月）
■勤務地
青森県むつ市および宮城県仙台市
■応募資格
①2022年3月卒業予定者
②卒業後概ね3年以内の学卒者
■その他
下北郡外からの受験者で、ホテル等に宿泊される方は、宿泊費5000円（一律）を補助します。
■お問い合わせ
社会福祉法人　青森社会福祉振興団
人材部／多田
電話／0175(23)1600
スマートフォンをお持ちの方はこちらのQRコードからもアクセスできます。▼▼▼

まるめろ奨学金を利用しませんか？

「医療・福祉分野で活躍したい」と考えている学生を応援する奨学金制度です。卒業後に当法人で一定期間働くことで、返済が免除されます。

ご相談、ご利用希望の方は、お気軽にお問い合わせください。

《対象》
大学生・短大生・専門学生・高校生等
《貸与額》
①．各国家資格取得（介護福祉士／看護師／理学療法士／作業療法士／言語聴覚士）を目指す学生…月額5万円
②．①以外の高校生…月額3万円
《お問い合わせ》
社会福祉法人　青森社会福祉振興団
人材部　多田
TEL／0175(23)1600

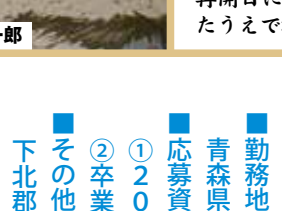
みちのくクリニックからのお知らせ

2021年4月から、みちのくクリニックでは地域住民の健康医療に寄与するため、青森県市町村職員共済組合の日帰りドックができるようになりました。

対象者は、30歳以上の組合員及び40歳以上の被扶養配偶者となります。

●健診料合計￥38,000（税込）
※オプション
・肺機能検査
・前立腺がん検査（PSA）※男性のみ
・胃の健康度ABC分類＋ピロリ菌検査
・睡眠時無呼吸簡易検査
・腫瘍マーカー検査基本料金　ほか

《お問い合わせ》
みちのくクリニック
TEL／0175(23)1171



配食サービス終了のお知らせ

このたび、諸般の事情により、２０２１年３月をもちまして、高齢者世帯や一人暮らしの高齢者の方を見守りながら地域の皆さまへお弁当をお届けしてきた「配食サービス」を終了することになりました。

むつ市城ヶ沢に「特別養護老人ホームみちのく荘」があった頃から、約２０年の長きにわたり、多くのご利用をいただきまして誠にありがとうございました。

お客様へエネルギーの創造と革新を提供し、経済・社会の発展に努めます。
今日はやすらぎを、明日に安心を。
ENEOSグローブエナジー株式会社
URL http://eg-energy.jp/
むつ支店：むつ市南赤川町10-27
TEL 0175-22-8320

し尿収集運搬業・浄化槽保守点検、清掃業
一般、産業廃棄物収集運搬業
下水道管渠清掃カメラ調査、下水終末処理場維持管理業
谷川環境衛生開発（株）
代表取締役社長　谷川　聡
本社：むつ市新町41-1
TEL. 0175(22)2659　FAX. 0175(22)7783
フリーダイヤル 0120-12-2659

快適な環境づくりのお手伝い
○介護用品のレンタル・販売
（車いす・ベッド・リハビリ機器他）
○住宅改修
株式会社 シルバーサービス
〒035-0033　むつ市横迎町2-9-13
TEL　0175-22-9511

水産物・青果物・食肉・冷凍食品等の卸売
有限会社 ニッショク
NISSYOKU
青森県むつ市大曲二丁目13-35
電話（0175）22-7222
FAX（0175）22-7081

経営のお役に立つ
あおぎんリース
むつ支店
〒035-0051 むつ市新町28-17
TEL.0175-23-0171
http://www.aogin-lease.jp

下北文化会館　指定管理者　株式会社 東京堂
〒035-0072 むつ市金谷一丁目10-1
tel 22-8411　fax 22-8414　http://shimobun.com

やさしい街づくりを
応援しています。